

安全データシート

Safety Data Sheet



| | | | | | |
|----------------------------|--|--|--------------------|-------------|--------------|
| 製造者情報 | | 会社名 | 有限会社 プレニー技研 | | |
| | | 住所 | 群馬県 伊勢崎市 三光町 22-13 | | |
| | | 電話番号 | 0270-20-7056 | FAX番号 | 0270-20-7057 |
| 「作成・改訂」 2019年 5月 20日 | | 緊急連絡先 | 上記に同じ | | 担当者 阿部康幸 |
| 製品名 | | Genus ジーナス GM-8300 | | | |
| 物質の特定 | | 主 剤 | | | |
| 単一製品・混合物の区別 化学名・成分及び含有量 | | 混合物 | | | |
| 化学式または構造式 | | ビスフェノールA型エポキシ樹脂 | ビスフェノールF型エポキシ樹脂 | 変性エポキシ樹脂 | アルミ粉 |
| 官報公示整理番号 化審法 安衛法 | | 13% | 非公開% | 非公開**% | 72% |
| CAS No. | | 25068-38-6 | 9003-36-5 | 非公開 | 7429-90-5 |
| 国連分類および国連番号 | | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 1396 |
| PRTR法 | | 非該当(1、2種) | 非該当(1、2種) | 非該当(1、2種) | 対象外 |
| | | 硬 化 剤 | | | |
| 単一製品・混合物の区別 化学名・成分及び含有量 | | 混合物 | | | |
| 化学式または構造式 | | 脂肪族アミン | 変性脂肪族アミン | 環状脂肪族アミン | |
| 官報公示整理番号 化審法 安衛法 | | 35% | 25% | 40% | |
| CAS No. | | 非公開 | 非公開 | 非公開 | |
| 国連分類および国連番号 | | クラス8(腐食性物質) | クラス8(腐食性物質) | クラス8(腐食性物質) | |
| PRTR法 | | 非該当(1、2種) | 非該当(1、2種) | 非該当(1、2種) | |
| 危険有害性の分類 | | 分類基準に該当せず。 | | | |
| 分類の名称 | | 高温で引火する液体 (主剤:消防法危険物第4類第4石油類 硬化剤:消防法危険物第4類第3石油類) | | | |
| 危険性 | | 主剤に混合したアルミ粉は、水・酸・アルカリと反応して水素ガスを発生する場合がある。 | | | |
| 有害性 | | 皮膚付着の場合、炎症、眼入の場合、激しいしゃく熱感、飲み込んだ場合は、激しい刺激や腹痛あり。但し、RoHS指令有毒物質-有毒重金属類・難燃付与剤、アスベスト類を製造原料として使用せず。 | | | |
| 環境影響 | | 現在での知見無し。 | | | |
| 応急措置 | | 直ちに水道水で、石鹸を使ってよく洗い流す。外観に変化が見られたりした場合は、医師の手当を受ける。 | | | |
| 皮膚についた場合 | | 直ちに、多量の水水道水でよく洗い、速やかに医師の手当を受ける。 | | | |
| 目に入った場合 | | 通風の良い所へ移動し、新鮮な空気を深呼吸する。また、良くうがいをする。 | | | |
| 蒸気を吸入した場合 | | 直ちに口腔を洗浄し、出来るだけ胃の内容物を吐かせ、速やかに医師の手当を受ける。 | | | |
| 飲み込んだ場合 | | | | | |
| 火災時の措置 | | 窒息消化。乾燥砂や粉末、炭酸ガス消化器で消化する。 | | | |
| 消化方法 | | 一般油火災用(粉末、泡、炭酸ガス) | | | |
| 消化剤 | | | | | |
| 漏出時の措置 | | ウエスでよく拭き取るか、乾燥砂、土、おがくず等に吸収させ、密閉容器に回収する。 | | | |
| 少量の場合 | | 盛り土、乾燥砂で囲って流出を防止し、ウエス、乾燥砂、土、おがくず等に吸収させ、密閉容器、ドラム缶に回収する。 | | | |
| 多量の場合 | | | | | |
| 取扱い及び 保管上の注意 | | 消防法の関連法規に準拠して作業、保管をする。 | | | |
| | | 取扱い場所周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。または、右記周辺では、使用しない。 | | | |
| | | 取扱いは、換気の良い場所で行う。または、局所排気装置の設置されている場所にて使用する。 | | | |
| | | 取扱い後は、石鹸を用いて手、顔、首筋など十分に洗浄をする。 | | | |
| | | 保管は、直射日光を避け、熱源より遠ざけて保管する。 | | | |

| 暴露防止措置 | | | | | | | | | |
|---|---|----|-----|---|--|-------------------|-----------------------|--------|--------|
| 管理濃度 | 設定されていない。 | | | | | | | | |
| 許容濃度 | 日本産業衛生学会勧告値:設定されていない。 ACGIH勧告値:設定されていない。 | | | | | | | | |
| 設備対策 | 作業場には、換気設備等を設ける。 洗眼、シャワー等の洗浄設備を設ける。 | | | | | | | | |
| 保護具 | 保護手袋、保護メガネ、有機ガス用防毒マスク、安全靴、ゴム長靴等。 | | | | | | | | |
| 物理/化学的性質 | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">主剤</th> <th style="width: 50%;">硬化剤</th> </tr> <tr> <td> 外観等・・・灰色 沸点・・・ 比重:1.8~1.9 溶解性:水に対して不溶、有機溶剤に対して可溶 </td> <td> 外観等・・・黒色 沸点・・・ 比重:1.05~1.07 溶解性:水に対してわずかに可溶、有機溶剤に対して可溶 </td> </tr> <tr> <td> 臭い:微量 揮発性:殆ど無し </td> <td> 臭い:アミン刺激臭 揮発性:殆ど無し </td> </tr> <tr> <td> 粘度:パテ状 </td> <td> 粘度:パテ状 </td> </tr> </table> | | 主剤 | 硬化剤 | 外観等・・・灰色 沸点・・・ 比重:1.8~1.9 溶解性:水に対して不溶、有機溶剤に対して可溶 | 外観等・・・黒色 沸点・・・ 比重:1.05~1.07 溶解性:水に対してわずかに可溶、有機溶剤に対して可溶 | 臭い:微量 揮発性:殆ど無し | 臭い:アミン刺激臭 揮発性:殆ど無し | 粘度:パテ状 | 粘度:パテ状 |
| 主剤 | 硬化剤 | | | | | | | | |
| 外観等・・・灰色 沸点・・・ 比重:1.8~1.9 溶解性:水に対して不溶、有機溶剤に対して可溶 | 外観等・・・黒色 沸点・・・ 比重:1.05~1.07 溶解性:水に対してわずかに可溶、有機溶剤に対して可溶 | | | | | | | | |
| 臭い:微量 揮発性:殆ど無し | 臭い:アミン刺激臭 揮発性:殆ど無し | | | | | | | | |
| 粘度:パテ状 | 粘度:パテ状 | | | | | | | | |
| 危険性情報 | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">主剤</th> <th style="width: 50%;">硬化剤</th> </tr> <tr> <td> 引火点:200℃以上 発火点・・・ 爆発限界・・・ 安定性・反応性:通常の取扱いにて、安定。硬化剤を添加したとき 激しく反応する。50ミリ以上の厚みで反応させないこと。 </td> <td> 引火点:100℃以上 発火点・・・ 爆発限界:データ無し 爆発性:無し 安定性・反応性:通常の取扱いにて、安定。主剤を添加したとき 激しく反応する。50ミリ以上の厚みで反応させないこと。 </td> </tr> </table> | | 主剤 | 硬化剤 | 引火点:200℃以上 発火点・・・ 爆発限界・・・ 安定性・反応性:通常の取扱いにて、安定。硬化剤を添加したとき 激しく反応する。50ミリ以上の厚みで反応させないこと。 | 引火点:100℃以上 発火点・・・ 爆発限界:データ無し 爆発性:無し 安定性・反応性:通常の取扱いにて、安定。主剤を添加したとき 激しく反応する。50ミリ以上の厚みで反応させないこと。 | | | | |
| 主剤 | 硬化剤 | | | | | | | | |
| 引火点:200℃以上 発火点・・・ 爆発限界・・・ 安定性・反応性:通常の取扱いにて、安定。硬化剤を添加したとき 激しく反応する。50ミリ以上の厚みで反応させないこと。 | 引火点:100℃以上 発火点・・・ 爆発限界:データ無し 爆発性:無し 安定性・反応性:通常の取扱いにて、安定。主剤を添加したとき 激しく反応する。50ミリ以上の厚みで反応させないこと。 | | | | | | | | |
| 有害性情報 | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">主剤</th> <th style="width: 50%;">硬化剤</th> </tr> <tr> <td> 人への影響:長時間或いは、頻繁に接触すると皮膚に刺激性あり。 また、弱い炎症を起こす可能性あり。 急性毒性:推定値LD₅₀30g/kg(経口 マウス) 皮膚刺激性 </td> <td> 人への影響:皮膚に強い刺激性あり、接触すると炎症を起こす可能性あり。 急性毒性:推定値LD₅₀1.5g/kg(経口 ラット) 皮膚刺激性:皮膚炎症を起こす恐れあり </td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">SPI分類:2(弱い刺激性)</td> <td style="text-align: right;">SPI分類:4(強い感作性)</td> </tr> </table> | | 主剤 | 硬化剤 | 人への影響:長時間或いは、頻繁に接触すると皮膚に刺激性あり。 また、弱い炎症を起こす可能性あり。 急性毒性:推定値LD ₅₀ 30g/kg(経口 マウス) 皮膚刺激性 | 人への影響:皮膚に強い刺激性あり、接触すると炎症を起こす可能性あり。 急性毒性:推定値LD ₅₀ 1.5g/kg(経口 ラット) 皮膚刺激性:皮膚炎症を起こす恐れあり | SPI分類:2(弱い刺激性) | SPI分類:4(強い感作性) | | |
| 主剤 | 硬化剤 | | | | | | | | |
| 人への影響:長時間或いは、頻繁に接触すると皮膚に刺激性あり。 また、弱い炎症を起こす可能性あり。 急性毒性:推定値LD ₅₀ 30g/kg(経口 マウス) 皮膚刺激性 | 人への影響:皮膚に強い刺激性あり、接触すると炎症を起こす可能性あり。 急性毒性:推定値LD ₅₀ 1.5g/kg(経口 ラット) 皮膚刺激性:皮膚炎症を起こす恐れあり | | | | | | | | |
| SPI分類:2(弱い刺激性) | SPI分類:4(強い感作性) | | | | | | | | |
| 環境影響情報 | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">主剤</th> <th style="width: 50%;">硬化剤</th> </tr> <tr> <td> 分解性 現在のところ知見を得られていない。 蓄積性 現在のところ知見を得られていない。 魚毒性 現在のところ知見を得られていない。 その他 </td> <td> 分解性 現在のところ知見を得られていない。 蓄積性 現在のところ知見を得られていない。 魚毒性 現在のところ知見を得られていない。 その他 </td> </tr> </table> | | 主剤 | 硬化剤 | 分解性 現在のところ知見を得られていない。 蓄積性 現在のところ知見を得られていない。 魚毒性 現在のところ知見を得られていない。 その他 | 分解性 現在のところ知見を得られていない。 蓄積性 現在のところ知見を得られていない。 魚毒性 現在のところ知見を得られていない。 その他 | | | | |
| 主剤 | 硬化剤 | | | | | | | | |
| 分解性 現在のところ知見を得られていない。 蓄積性 現在のところ知見を得られていない。 魚毒性 現在のところ知見を得られていない。 その他 | 分解性 現在のところ知見を得られていない。 蓄積性 現在のところ知見を得られていない。 魚毒性 現在のところ知見を得られていない。 その他 | | | | | | | | |
| 廃棄上の注意 | | | | | | | | | |
| 製品、容器の廃棄は、廃棄物処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。処分作業は、可燃物の取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。 | | | | | | | | | |
| 輸送上の注意 | | | | | | | | | |
| 取扱い及び保管上の注意の項を参照し、容器に洩れの無きこと、転倒・損傷の無いようにして輸送のこと。 | | | | | | | | | |
| 陸上運送 消防法、労働安全衛生法に定められる運送方法に従うこと。 | | | | | | | | | |
| 海上運送 船舶安全法に定められるところに従うこと。 航空運送 航空法に定めるところに従うこと。 | | | | | | | | | |
| 主な適用法規 | | | | | | | | | |
| 消防法 危険物 第4石油類第4石油類、第4石油類第3石油類 毒物劇物取締法 該当せず 労働安全衛生法 特定有害性物質 既存変異原化学物質(ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体) 感作性物質(ビスフェノールA型エポキシ樹脂) PRTR法H23年改訂(ビスフェノールA型エポキシ樹脂 非該当2011年改訂) | PRTR法 主剤:第1種、政令No.30に該当。 海事法令/海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂) 船舶安全法 腐食性物質 航空法 腐食性物質 輸出貿易管理令 キャッチオール規制対象品 | | | | | | | | |
| その他の情報 | | | | | | | | | |
| エポキシ樹脂、硬化剤関連化合物取扱い参考データ集[エポキシ樹脂技術協会] 管理者用「新エポキシ樹脂・硬化剤の正しい取扱いの手引き」[エポキシ樹脂協会] MSDS「化学物質安全データシート」用語集 厚生省生活衛生局企画課 生活化学安全対策室監修 [化学工業日報社] | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 記載内容は、作成時に入手できた資料や情報に基づいておりますが、記載データ値や評価に関しては、いかなる保証も為すものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、用法に適した安全対策を実施の上、取扱いを願います。 ● 化学物質総合検索システム/製品評価技術基盤機構(独立行政法人) | | | | | | | | | |